

# ばいテン-私

BAITEN-NO

1997年 1月 NO.176

〈事務局〉

津田尚美方

〈編集〉 池田玲子



時代は変わったのに、

まだ

女の裸しか

商社の広告に

もってこれないなんて。

創造性の枯渇した

男たちが悲しい。

働く男の

**AIR**  
CUSHION



「おっはい」は、偉大男のエアークッションにされるかと思えば、商社の  
営業開始のボタンにもされる。女のからだをモノ扱いにする  
思想は、従軍慰安婦問題と重なり、私たちは許せない。

【写真提供】

【写真提供】

【写真提供】

# 鼓動、始動。

「理想の商品先物取引会社とは……」。  
納得するまで、生まれるわけにはいきませんでした。  
伊藤忠フューチャーズ、いよいよ営業開始。ご期待ください。



伊藤忠フューチャーズ株式会社

〒107 東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ブイ・ザ・ビル TEL. 03-5562-6819 FAX. 03-5562-6818

0120-1102-25 全国フリーダイヤル 受付時間 9時～18時 FAX. 03-5562-6819

1996年12月17日

朝日新聞社 様

ばってん・うーまんの会

## 「ホーキンス靴」の広告掲載に対して抗議 します

12月12日付の貴紙第19面に掲載された「ホーキンス靴」の広告に対して私  
たちは大変憤っています。

以前から広告における女性のヌード写真の氾濫に対しては、女性蔑視や教育上の  
問題があると女性団体やPTA団体等から指摘されています。また最近航空会社  
がヌード写真の載っている週刊誌を機内に置かないことにしたということが話題に  
なりました。このような社会状況にあって、貴紙が全面に大きな女性ヌードの広告  
を掲載したことは、時代の動きに逆行するばかりでなく、女性の気持ちをさかなで  
するものです。特に、男の靴が女性の乳房を踏みつけにしているこの広告は、女性  
を侮辱するとともに、女性の体が「働く男」のなぐさみものでしかないことを表し、  
今の男性優位の社会を肯定するものです。

貴紙は紙面づくりにおいても女性問題をまじめにとりあげ、男女共生の社会をめ  
ざす世論形成に大きな役割を果たしているにもかかわらず、その一方でこのような  
女性をおとしめるようなヌード広告を掲載するとは、いったいどんな人権感覚を持  
っているのかと心底落胆しました。

また新聞は子どもも読むということを前提に作られ、学校教育の場では教材にさ  
え使われています。この広告を目にした子どもは女性の裸を使った広告をどう思う  
でしょうか。女性の裸は商品になるという誤ったSEX観を助長させるだけです。

見たくないのに、見せたくないのに一方的に入り込んでくる新聞の広告には、や  
はりある程度のモラルが求められるはずです。女性ヌードを見たくない人にとって  
は、このような広告は女性蔑視のポルノの暴力です。

今すぐ、この広告掲載に対して謝罪するとともに、広告を撤回するよう強く要望  
します。

事務局  
津田尚美 電



新聞社は――

- ばってん・うーまんの会は――

- ぼろい、ウーエルの会費構成は、どんな方たちですか？「主婦」の方たち？と聞かれ  
笑っていた。男の素性をよくときに「お前は素直者」ときくと、何か、わかつ  
のでおか木。「それか、どうした」ときくと、

{ 来場者の声 }

- ・良かった。もう少し長くしてほしいから。(40代女)
- ・花マル! 別の演目も楽しみにしています。(30代女)

{田中美津}

- ・田中美津さんの「ガンでも幸せ」「○○でも幸せ」という言葉に考えさせられた。(30代 男)
- ・半信半疑で参加したのが、ほんとうにリフレッシュでき、じわ~っと力が湧いてきた。(40代 女)
- ・ギリギリのリアの語があるのかと少し緊張していたが、むしろ解放されてうれしかった。今日来て Lucky!! (20代 女)

